



平成24年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディアシーク
コード番号 4824 URL <http://www.mediaseek.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 直紀
問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理部長 (氏名) 根津 康洋

TEL 03-5423-6600

四半期報告書提出予定日 平成24年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第2四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第2四半期	718	△20.2	△49	—	△56	—	△41	—
23年7月期第2四半期	900	△7.0	14	61.5	4	—	△26	—

(注) 包括利益 24年7月期第2四半期 △38百万円 (—%) 23年7月期第2四半期 △30百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第2四半期	△426.83	—
23年7月期第2四半期	△278.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年7月期第2四半期	2,019	1,768	85.8	17,861.17
23年7月期	2,095	1,815	85.2	18,415.31

(参考) 自己資本 24年7月期第2四半期 1,732百万円 23年7月期 1,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	0.00	—	100.00	100.00
24年7月期	—	0.00	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	△18.4	△167	—	△195	—	△203	—	△2,093.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年7月期2Q	97,215 株	23年7月期	97,215 株
24年7月期2Q	233 株	23年7月期	233 株
24年7月期2Q	96,982 株	23年7月期2Q	96,982 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は依然厳しく、円高による国内産業への影響等も含め、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、コンテンツ事業において、既存の携帯電話向け有料コンテンツのサービス強化を行ったほか、「スーパーボディ」、「Beauty マクロビオ!」、「週刊プロレスmobile」、「東スポ芸能」等、従来サービスに加え、新たなスマートフォン向けコンテンツの提供を開始しました。サービス開発事業においては、バーコードリーダー等モバイル機器向けソフトウェアのライセンス販売を行いました。システムコンサルティング事業においては、主に既存クライアント向けシステムコンサルティング業務による売上を計上しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、718,338千円(前年同期比20.2%減)、営業損失は、49,288千円(前年同期は、14,302千円の営業利益)、経常損失は、56,359千円(前年同期は、4,773千円の経常利益)、四半期純損失は、41,394千円(前年同期は、26,983千円の四半期純損失)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

なお、前連結会計年度においては、主にスマートフォン向けの新規技術等を開発するための研究開発要員を「サービス開発事業」セグメントの内部に配属しておりましたが、第1四半期連結会計期間から、より一層の研究開発体制の強化を目的として、「サービス開発事業」セグメントから独立した研究開発の専属部門を設立し、「サービス開発事業」セグメントで集計していた研究開発活動を「調整額」で集計するように区分を変更しております。前年同期比の金額及び比率については、前第2四半期連結累計期間を当第2四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分に組替えて算出しております。

(サービス開発事業)

サービス開発事業においては、従来の携帯電話向け組込み型バーコードリーダーのライセンス販売に加え、スマートフォン向けにもバーコードリーダーを提供し、主要な携帯電話メーカーや通信事業者、情報サービス事業者等に対し、アプリケーションソフトウェアのライセンス販売を行いました。その結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、83,139千円(前年同期比34.1%減)、セグメント利益は、16,623千円(前年同期比63.3%減)となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業においては、既存の携帯電話向け有料コンテンツのサービス強化を行ったほか、「スーパーボディ」、「Beauty マクロビオ!」、「週刊プロレスmobile」、「東スポ芸能」等、新たなスマートフォン向けアプリケーションコンテンツの提供を開始しました。その結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、324,628千円(前年同期比26.9%減)、セグメント利益は、67,795千円(前年同期比18.4%増)となりました。

(システムコンサルティング事業)

システムコンサルティング事業においては、主に既存クライアントに対するシステムコンサルティングサービスを実施しました。その結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、310,570千円(前年同期比6.0%減)、セグメント利益は、51,351千円(前年同期比35.7%減)となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,019,454千円(前連結会計年度末から75,850千円の減少)となりました。

このうち、流動資産は、1,424,320千円(前連結会計年度末から87,073千円の減少)となりました。これは、主として売掛金が56,879千円減少したこと及び流動資産のその他に含まれている繰延税金資産が18,012千円減少したことによるものです。

固定資産は、595,134千円(前連結会計年度末から11,223千円の増加)となりました。これは、主として投資有価証券が25,877千円減少した一方で投資その他の資産のその他に含まれている繰延税金資産が40,528千円増加したことによるものです。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債は、251,408千円(前連結会計年度末から27,979千円の減少)となりました。

このうち、流動負債は、180,950千円(前連結会計年度末から24,084千円の減少)となりました。これは、主として買掛金が13,606千円減少したこと及び流動負債のその他に含まれている未払費用が6,955千円減少したことによるものです。

固定負債は、70,458千円(前連結会計年度末から3,895千円の減少)となりました。これは、主として長期借入金が4,002千円減少したことによるものです。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,768,045千円(前連結会計年度末から47,870千円の減少)となりました。これは、主として四半期純損失を計上したこと及び配当を実施したことにより利益剰余金が51,092千円減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、期首に比べ12,252千円減少し、1,042,451千円(前連結会計年度末は、1,054,703千円)となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次の通りです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,155千円の収入(前年同期は、69,410千円の収入)となりました。これは、主として税金等調整前四半期純損失が56,578千円計上されたものの、このうち現金支出を伴わない費用である減価償却費が10,494千円、投資有価証券評価損が16,347千円を占めていること及び売上債権が56,305千円減少したことによるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、499千円の支出(前年同期は、33,596千円の支出)となりました。これは、主として投資有価証券の売却により9,707千円の収入を得た一方で、有形固定資産の取得により7,206千円を支出したこと、無形固定資産の取得により678千円を支出したこと及び敷金2,321千円を支出したことによるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、13,917千円の支出(前年同期は、13,994千円の支出)となりました。これは、主として配当金を9,248千円支払ったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間においては、従来型携帯電話向けアプリケーションのライセンス販売において、減少幅が当初予想より小幅に収まったこと及びシステム改修費用等の実際の費用計上額が予想を下回ったことが、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益を押し上げる結果となっております。一方で、第3四半期連結会計期間以降においては、諸々の不確定要素があるため、平成23年9月9日に公表した平成24年7月期の連結業績予想の数値は、変更しないものとします。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054,703	1,042,451
売掛金	397,202	340,323
商品	187	178
仕掛品	3,203	9,575
その他のたな卸資産	12,778	7,432
その他	53,728	33,487
貸倒引当金	△10,410	△9,128
流動資産合計	1,511,394	1,424,320
固定資産		
有形固定資産	39,548	38,006
無形固定資産		
のれん	7,168	5,533
その他	10,543	9,104
無形固定資産合計	17,712	14,638
投資その他の資産		
投資有価証券	353,098	327,220
その他	200,051	241,919
貸倒引当金	△26,500	△26,650
投資その他の資産合計	526,650	542,489
固定資産合計	583,910	595,134
資産合計	2,095,305	2,019,454
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,782	87,175
1年内返済予定の長期借入金	8,671	8,004
未払法人税等	3,677	3,612
賞与引当金	—	2,715
その他	91,904	79,442
流動負債合計	205,034	180,950
固定負債		
長期借入金	56,655	52,653
退職給付引当金	243	228
資産除去債務	17,455	17,577
固定負債合計	74,353	70,458
負債合計	279,388	251,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,962	814,962
資本剰余金	948,203	948,203
利益剰余金	158,202	107,109
自己株式	△39,678	△39,678
株主資本合計	1,881,689	1,830,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△89,233	△91,349
為替換算調整勘定	△6,502	△7,035
その他の包括利益累計額合計	△95,735	△98,384
少数株主持分	29,962	35,833
純資産合計	1,815,916	1,768,045
負債純資産合計	2,095,305	2,019,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
売上高	900,539	718,338
売上原価	655,171	518,617
売上総利益	245,367	199,720
販売費及び一般管理費	231,065	249,009
営業利益又は営業損失(△)	14,302	△49,288
営業外収益		
受取利息	920	78
受取配当金	3,146	3,691
投資有価証券売却益	319	—
複合金融商品評価益	—	2,200
助成金収入	—	2,819
その他	4,737	1,575
営業外収益合計	9,124	10,365
営業外費用		
支払利息	1,063	789
複合金融商品評価損	6,490	—
投資有価証券売却損	1,500	—
投資有価証券評価損	9,329	16,347
その他	270	299
営業外費用合計	18,653	17,436
経常利益又は経常損失(△)	4,773	△56,359
特別利益		
資産除去債務履行差額	4,642	—
特別利益合計	4,642	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,005	—
固定資産除却損	5,030	218
事務所移転費用	14,088	—
特別損失合計	35,124	218
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,709	△56,578
法人税、住民税及び事業税	1,739	1,397
法人税等調整額	△10,515	△22,608
法人税等合計	△8,775	△21,211
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△16,933	△35,367
少数株主利益	10,049	6,027
四半期純損失(△)	△26,983	△41,394

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△16,933	△35,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,570	△2,115
為替換算調整勘定	△867	△689
その他の包括利益合計	△13,437	△2,805
四半期包括利益	△30,370	△38,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,147	△44,043
少数株主に係る四半期包括利益	9,776	5,871

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,709	△56,578
減価償却費	12,756	10,494
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,005	—
のれん償却額	3,969	1,634
貸倒引当金の増減額(△は減少)	320	△1,130
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	2,715
受取利息及び受取配当金	△4,067	△3,770
支払利息	1,063	789
投資有価証券売却損益(△は益)	1,180	—
投資有価証券評価損益(△は益)	9,329	16,347
複合金融商品評価損益(△は益)	6,490	△2,200
有価証券評価損益(△は益)	△216	—
為替差損益(△は益)	△4,055	△449
固定資産除却損	5,030	218
資産除去債務履行差額	△4,642	—
事務所移転費用	14,088	—
売上債権の増減額(△は増加)	71,496	56,305
たな卸資産の増減額(△は増加)	△21,156	△1,017
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,722	△13,606
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,903	3,327
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△1,384	△261
その他の資産の増減額(△は増加)	774	△16
その他の負債の増減額(△は減少)	△84	△16,197
小計	58,561	△3,392
利息及び配当金の受取額	4,962	3,770
利息の支払額	△1,033	△910
移転費用の支払額	△10,332	—
法人税等の還付額	17,253	1,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,410	1,155

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,016	△7,206
無形固定資産の取得による支出	△2,783	△678
貴金属地金の取得による支出	△100,000	—
有価証券の売却による収入	197,325	—
投資有価証券の取得による支出	△132,190	—
投資有価証券の売却による収入	36,028	9,707
敷金及び保証金の差入による支出	△23,263	△2,321
敷金及び保証金の回収による収入	2	—
短期貸付けによる支出	△1,000	—
短期貸付金の回収による収入	300	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,596	△499
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△4,669	△4,669
配当金の支払額	△9,325	△9,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,994	△13,917
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,728	1,008
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	25,549	△12,252
現金及び現金同等物の期首残高	989,472	1,054,703
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,015,022	1,042,451

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	サービス開 発事業	コンテンツ 事業	システムコ ンサルティ ング事業			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	126,078	444,128	330,332	900,539	—	900,539
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	25,453	25,453	△25,453	—
計	126,078	444,128	355,785	925,992	△25,453	900,539
セグメント利益	32,677	57,264	79,805	169,747	△155,444	14,302

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	サービス開 発事業	コンテンツ 事業	システムコ ンサルティ ング事業			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	83,139	324,628	310,570	718,338	—	718,338
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	12,469	12,469	△12,469	—
計	83,139	324,628	323,040	730,808	△12,469	718,338
セグメント利益又は損失(△)	16,623	67,795	51,351	135,770	△185,058	△49,288

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用及び研究開発部門の費用です。金額の内訳は、全社管理部門が△145,724千円、研究開発部門が△39,333千円となっております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度においては、主にスマートフォン向けの新規技術等を開発するための研究開発要員を「サービス開発事業」セグメントの内部に配属しておりました。第1四半期連結会計期間から、より一層の研究開発体制の強化を目的として、「サービス開発事業」セグメントから独立した研究開発の専属部門を設立し、「サービス開発事業」セグメントで集計していた研究開発活動を「調整額」で集計するように区分を変更しております。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下の通りです。

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	サービス開 発事業	コンテンツ 事業	システムコ ンサルティ ング事業			
売上高						
(1)外部顧客への売上高	126,078	444,128	330,332	900,539	—	900,539
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	25,453	25,453	△25,453	—
計	126,078	444,128	355,785	925,992	△25,453	900,539
セグメント利益	45,242	57,264	79,805	182,311	△168,008	14,302

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全社管理部門の費用及び研究開発部門の費用です。金額の内訳は、全社管理部門が△155,444千円、研究開発部門が△12,564千円となっております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。